

2010 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 8 月 31 日の間に
川崎医科大学総合医療センター（旧川崎医科大学附属川崎病院を含む）において急性虫垂炎の診断
および治療を受けられた方及びご家族の方へ

— 「急性虫垂炎の診断と治療方針決定におけるスコアシステムの有用性の検討」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合外科学	准教授	高岡	宗徳
研究分担者	川崎医科大学総合外科学	臨床助教	赤木	晃久
	川崎医科大学総合外科学	臨床助教	浦野	貴至
	川崎医科大学総合外科学	教授	山辻	知樹

1. 研究の概要

急性虫垂炎の診断スコアシステムとして認知されている Alvarado score を用いて、当院で診断された急性虫垂炎に対し、初診時スコアと実際に行われた治療内容を後方視的に抽出し、診断スコアシステムが緊急手術適応の判断や、非手術療法の際の抗菌薬選択の一助になりうるかを検証します。これらの解析をもとに、急性虫垂炎の治療方針策定のためのスコアシステム構築を本研究の最終目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 8 月 31 日の間に川崎医科大学総合医療センター(旧川崎医科大学附属川崎病院を含む)において急性虫垂炎の診断および治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ~ 2023 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において急性虫垂炎の診断治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに自覚症状・血液所見・画像所見・治療内容のデータを選び、初診時の症状・所見を数値化して、治療経過・手術療法の必要性に関する分析を行い、スコアシステムと治療方針判断の妥当性について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、使用抗菌薬、手術所見、治療歴、入院後経過、術後の病理診断 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年1月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合外科学

氏名：高岡 宗徳

電話：086-225-2111 内線 85219（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-224-6821

E-mail：m-takaoka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。